

千葉県立博物館の事業に係る有識者意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]	値の説明	数値					
I	収集資料の整理・保存有効活用・調査研究	収集資料	1	博物館資料の受入等	28年度実績	1731点	4	A	年度内新規資料登録点数	
					館設定の目標	600点				
			2	資料の情報化・公開実績	28年度実績	865点	4		年度内新規登録資料のうちデジタル画像・映像を作成した資料数	
					館設定28年度の目標	300点				
			3	資料収集の回数	28年度実績	144回	4			
					館設定28年度の目標	80回				
		4	館外貸出(外部機関等展示等)	28年度実績	3件	4				
				要望のあった件数	3件					
		5	館内利用(学術調査等)	28年度実績	19件	4				
				要望のあった件数	19件					
		6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	28年度実績	7件	4				
				要望のあった件数	7件					
		調査研究	7	調査事業件数	件数	28年度実績	11件	4	A	
						館の計画	11件			
			8	共同調査事業件数	件数	28年度実績	3件	4		
		要望のあった件数				3件				
		9	研究成果の公開状況	論文研究報告	28年度実績	10件	4			
					館の計画	8件				
大項目 I の総合評価(A~D)						A				
博物館コメント	小項目1は受動的な受入だけでなく、館の資料収集活動で採集したのものも含んでいる。博物館資料は、有効活用の件数を想定して収集・保管されるものではないため、小項目4-6については、目標を要望のあった件数とし、申し出があった案件にすべて対応した。すべての項目で目標を達することができた。									
有識者コメント	「資料の情報化・公開実績」は項目を2つに分けた方が良い。(文化財課事務局への意見)									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考				
			上段:達成値(H28)	下段:目標値(H28)]	値の説明				数値			
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	28年度実績	61,390人	4	B	目標は23年度数値		
						館設定28年度の目標	52,000人					
			2	企画展 (マリンサイエンスギャラリー)	入館者数	28年度実績	7,846人	3			目標は21-27年度数値を参考にした数値	
						館設定28年度の目標	8,200人					
			3	企画展 (収蔵資料展)	入館者数	28年度実績	17,201人	3				目標は21-27年度数値を参考にした数値
						館設定28年度の目標	20,000人					
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	28年度実績	56回	4		A		
						館設定28年度の目標	50回					
						5	企画展 (マリンサイエンスギャラリー、収蔵資料展、アート展)					
館設定28年度の目標	2回											
6	トピックス展等	実施回数	28年度実績			該当なし						
			館設定28年度の目標									
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度 「とても良かった」 +「良かった」の割合	28年度実績	85%		4	A				
				8	企画展 (マリンサイエンスギャラリー)				28年度実績		95%	
									9		企画展(収蔵資料展)	28年度実績
大項目IIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	展示の回数は目標を達成し、お客様の満足度も総じて高い評価をいただくことができた。しかし、入館者数については前年度よりも総じて少なく、企画展示入場者数は2つとも100%の目標達成には至らなかった。											
有識者コメント	入館者数の増減については、周辺施設等との情報交換を図り、要因の把握に努めることを期待する(外房全体の観光客が減少傾向にある模様)。											
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率		28年度実績		98%	3	A	
						前年度実績	100%					
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	28年度実績	4件		4			
						館設定28年度の目標	2件					
大項目IIIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	入場料収入は昨年をやや下回り、外部資金の獲得件数は目標値(科研費1件、財団等のファンド1件の計2件)の2倍であった。											
有識者コメント												

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]		値の説明	数値			
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	28年度実績	48回	4	B
					館設定28年度の目標	30回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	28年度実績	38,425件	3	
					館設定28年度の目標	42,000件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	28年度実績	73件	2	
					館設定28年度の目標	100件			
大項目IVの総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	ホームページのアップ数は目標値を大幅に上回っているものの、アクセス数が目標値を下回った。魅力あるコンテンツの検討が必要と思われる。また、海の自然に興味をもつ人に博物館の存在や活動内容を効率良く伝えるための広報媒体を見つけ出し、取材件数増加のためのきっかけ作りとしたい。								
有識者コメント									
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	28年度実績	47校	4	A
					要望があった数	47校			
			2	入館者数	28年度実績	2396人	4		
					要望があった数	2396人			
			3	生徒・児童	入館者数	28年度実績	2396人	4	
		要望があった数			2396人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	28年度実績	7校	4		
				要望があった数	7校				
		5	利用者数	28年度実績	341人	4			
				要望があった数	341人				
地域関係団体との連携	6	団体数	28年度実績	20団体	4				
			要望があった数	20団体					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	28年度実績	20回	4			
要望があった数			20回						
8	利用者数	28年度実績	1693人	4					
		要望があった数	1693人						
9	友の会活動	利用人数	28年度実績				該当なし		
10	ボランティア活動	活動延人数	28年度実績	102人	2				
			前年度実績	149人					
大項目Vの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	他団体との連携は、野外実習授業(磯観察等を伴った学校への対応)、団体フィールドトリップ(磯観察等を伴った社会教育施設、教員部会等への対応)、展示解説(バックヤードを含めた施設内見学対応)として要望のあったものすべてを受け入れた。ボランティアについては、活動の機会を増やすなどの検討を要する。								
有識者コメント	ボランティアについては、今後のことも考慮して、ぜひ若い世代の人たちを引き入れることを検討してほしい。								

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H28)	下段:目標値(H28)	値の説明				数値
VI	教育・普及活動	来館状況	1	観察会	参加者数	28年度実績	151人	2	C
						募集員数	215人		
			2	講座	参加者数	28年度実績	16人	1	
						募集員数	60人		
			3	フィールドトリップ	参加者数	28年度実績	155人	4	
						募集員数	150人		
			4	バックヤードツアー	参加者数	28年度実績	141人	3	
		募集員数				165人			
		5	みんなで工作 海の生きもの	参加者数	28年度実績	83人	2		
					募集員数	120人			
		6	アート展ワークショップ	参加者数	28年度実績	60人	2		
					募集員数	80人			
		7	海の体験コーナー	参加者数	28年度実績	240人	3		
募集員数	246人								
総合的な満足度	8	観察会	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	28年度実績	100%	4	A		
				9	講座	28年度実績		100%	4
				10	フィールドトリップ	28年度実績		100%	4
				11	バックヤードツアー	28年度実績		98%	4
				12	みんなで工作 海の生きもの	28年度実績		100%	4
利用状況	13	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	28年度実績	637件	4	A		
要望数	637件								
大項目VIの総合評価(A~D)						B			
博物館コメント	例年、講座において定員の充足率が低いため、本年度は1日に2回の行事を開催するなどして集客を図った。しかし、大きな増加は認められなかったため、今後、開催時期や魅力あるプログラムの開発を検討することが必要と思われる。他の行事の定員充足率は概ね高いレベルである。参加者の満足度は目標としてアンケートの「とても良かった」+「良かった」の割合を80%以上に固定している。従って、この項目の結果は極めて高い。								
有識者コメント	来館状況については、せっかく努力していることが成果に現われて来ずに残念である。ぜひその要因を推測し、改善策を検討してほしい。								
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	28年度実績		4	A	該当なし
					館設定28年度の目標				
			2	教員等の研修	28年度実績	51人	4		
					館設定28年度の目標	51人			
		3	職場体験	28年度実績	1人	4			
				館設定28年度の目標	1人				
4	インターンシップ	28年度実績		4	希望者なし				
		館設定28年度の目標							
安全管理	5	研修会の開催	実施回数	28年度実績	2回	4	A		
				館の計画	2回				
6	防災訓練実施等	実施回数	28年度実績	2回	4				
			館の計画	2回					
大項目VIIの総合評価(A~D)						A			
博物館コメント	1~3の実習の要望にはすべて対応したため、達成度を100%とした。安全管理も計画通りに実行することができた。								
有識者コメント									

分類	大項目	中項目	小項目		達成 状況	総合 評価	備考
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]	値の説明			

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考					
			上段:達成値(H28) 下段:目標値(H28)]	値の説明	数値								
Ⅳ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	28年度実績	45団体	4	B					
					前年度実績	41団体							
			2		28年度実績	2907人	4						
					前年度実績	2571人							
			3		28年度実績	0団体	1						
					前年度実績	1団体							
			4	外国人来館入込	28年度実績	233人	4						
					前年度実績	176人							
			大項目Ⅳの総合評価(A~D)							B			
			博物館コメント	県外の団体の入場について、学校関係は予約でほぼ前年並み、学校外では予約なしの飛び込みが多い。目黒区、小金井市等は毎年多くの小学校が来館する。初めて来館する学校等が来年以降も来館してくれるよう丁寧な対応をして常連の団体を増加させることが必要。一方、飛び込みの団体や外国人については対策が立てにくい。外国人個人来館者は増加傾向が見られる。									
			有識者コメント										
			総合評価(A~D) [各達成度の平均]							A			
総合評価と次年度への対策	来館者対応部分(展示関係、教育普及関係、地域との連携など)において、各事業における満足度については達成度が高く、利用者には高評価を得ていた。しかし、今年度は、目標値は達成している部分もあるが前年度に比べて総じて利用者数の減少傾向が顕著であった。その要因については複合的なものが考えられ、対策を立てることは容易ではないと考えるが、事業の質を落とさないモチベーションを保ちながら、報道への情報提供、ホームページやツイッターなどによる対外的発信を強化し、事業内容について積極的にアピールを行う必要があると思われる。また、利用者の高満足度をそのまま維持するために、展示や教育普及などの利用者に対する活動の基礎となる資料の充実や研究活動を、中長期的な計画に沿って推進していく必要がある。												

【博物館評価に係る有識者意見】

評価項目全体に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の目標値の設定基準が明確で、わかりやすい評価になっている。 ・海博に保存されている質の良い豊富な資料を活かした事業展開を心がけてほしい。 ・エリアとして、近隣、県内だけでなく、他県も含めて、広報の手段を再検討し、効果的な広報を行うことで集客につなげてほしい。例えば、博物館近隣に宿泊する観光客が、「明日やっているイベントがないか？」などと探すときに、SNSを用いて「明日これをやります」的な宣伝がなされているとより効果的な広報となるのではないかと。また、客層の分析も行い、どこにどのような広報を行えば効果的なのかなどの検討材料にすると良い。
-------------	---

【博物館記入】

意見への対応	<p>海の博物館で行われている企画展示での展示品は、かなりの割合で海の博物館の収蔵品であり、借用資料は多くなく、これまでも収蔵資料の積極的な活用を心がけてきている。今後も、中長期的な計画のもと積極的に資料収集活動を行って、様々な利用に適した資料を収集するとともに、当館で行う企画展示以外での活用方法についても検討していきたい。また、広報については、ホームページやツイッターなどでの広報の方法を検討し、利用者により細やかな情報を伝え、集客につながるような更新やツイートの仕方について検討・実施していきたい。</p>
--------	--